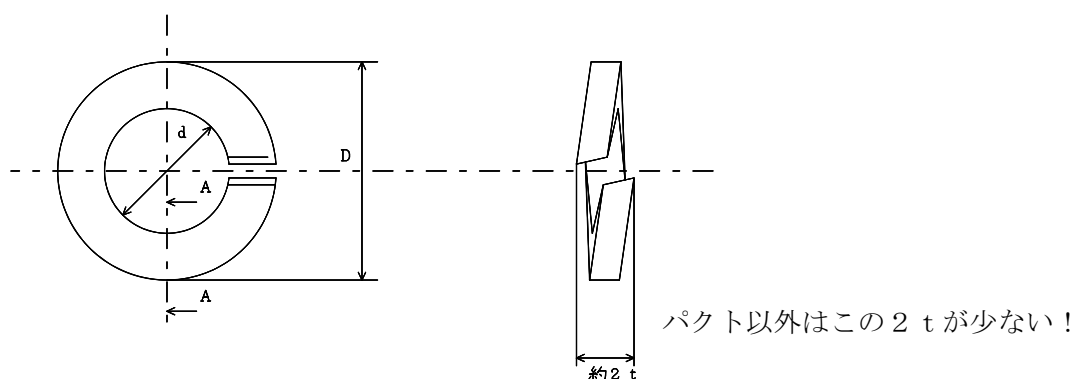


## 【パクト 他のアッセンブリー商品との違い】

### パクトの利点 その①

パクトは JIS B1251 の座金を使用しています

機械的にアッセンブリーしたナットはばね座金に「かしめしろ」を設けるために、ばね座金の JIS に決められた圧縮試験方法【ばね座金の圧縮試験は、決められた試験荷重を約 1 秒負荷する操作を連続 3 回繰り返した後、自由高さを測定する】が出来ない場合があります。これは、約 2 t というばね座金の「たち幅」がないからです。また、試験後の自由高さは JIS では各サイズとも最小値で決められていますが、「かしめナット」では、この「バネ力」も小さくなります。



これは、木造住宅の場合などの金物接合に使用するナットの場合、「木やせ」という大きな問題があり、締結後に木が乾燥して緩む可能性があります。ばね座金に「たち幅」がない場合とある場合では住宅を組み立てていく上でその「緩み」に大きな違いが生じることは十分考えられます。

### パクトの利点 その②

現場ではネジは締結時にナットをインパクトレンチで締結するため、ナット表面に傷が付きやすいのは周知の事実です。このため、どんなにすばらしい表面処理を施しても、締結時に傷が付き、せっかくの表面処理がないところが出来てしまい、そこから錆びてしまう可能性が多いといわれています。しかし、パクトは締結時にこの傷を薄膜の皮膜が身代わりになり守ってくれるという特徴を持っています。何十年もの耐久性を追及しなければならない住宅などの場合、締結時の傷による錆からパクトの薄膜皮膜は守ってくれます。

### パクトの利点 その③

パクトは今求められてきている、高強度・高級材質・特殊表面処理など、どんなものでもアッセンブリーが可能という特徴を持っています。ナットでは 4 5 C や 8 T ・ 1 0 T 品、そしてステンレスでも、SUS304 や SUS316 の一体化も可能で、現在、商品として流れています。また、形では小型ナットなどの特殊品などもアッセンブリーしています。また、それらは、日本国内だけではなく、外国の建設現場などにも承認され使われてきています。それ故、パクトは全て受注生産品でもあります。ユーザー様の仕様に合わせて開発・製造可能ですので、まずはお問合せ下さい。